

シマアシャギ



■コンセプト

伊江島の玄関口である本部港。島への物資の往来はコンテナに入れられ、島へと運ばれます。伊江島は、観光客や修学旅行生、研修生の渡島も多く、沖縄の離島としては人々の往来の多い島です。また、ラム酒や落花生、塩、小麦、黒糖、島らっきょう、紅イモなど、物産品も充実しています。人が行き来し、物が盛んに運搬される。

この場所は自然と人々が集まり、出逢い、別れます。ここに、屋根を架けて、島と物、島と人、物と物、人と人との関わる場所にしたいと考えました。

屋根の一部を少し捲るように上げます。この下では、コンテナを置いたり、運搬される物資を積み上げたりする場所です。捲っていない、屋根の低くなっている場所は、島へ帰る人や、観光客、修学旅行生など、島へ行く人たちの為の場所です。さらに、船の往来との関わり以外にも、捲りあげた屋根の下をステージとし、低い部分を観客席とすると、イベントやレクリエーション、伊江島の物産展を催す場所としての役割を持たせることができます。

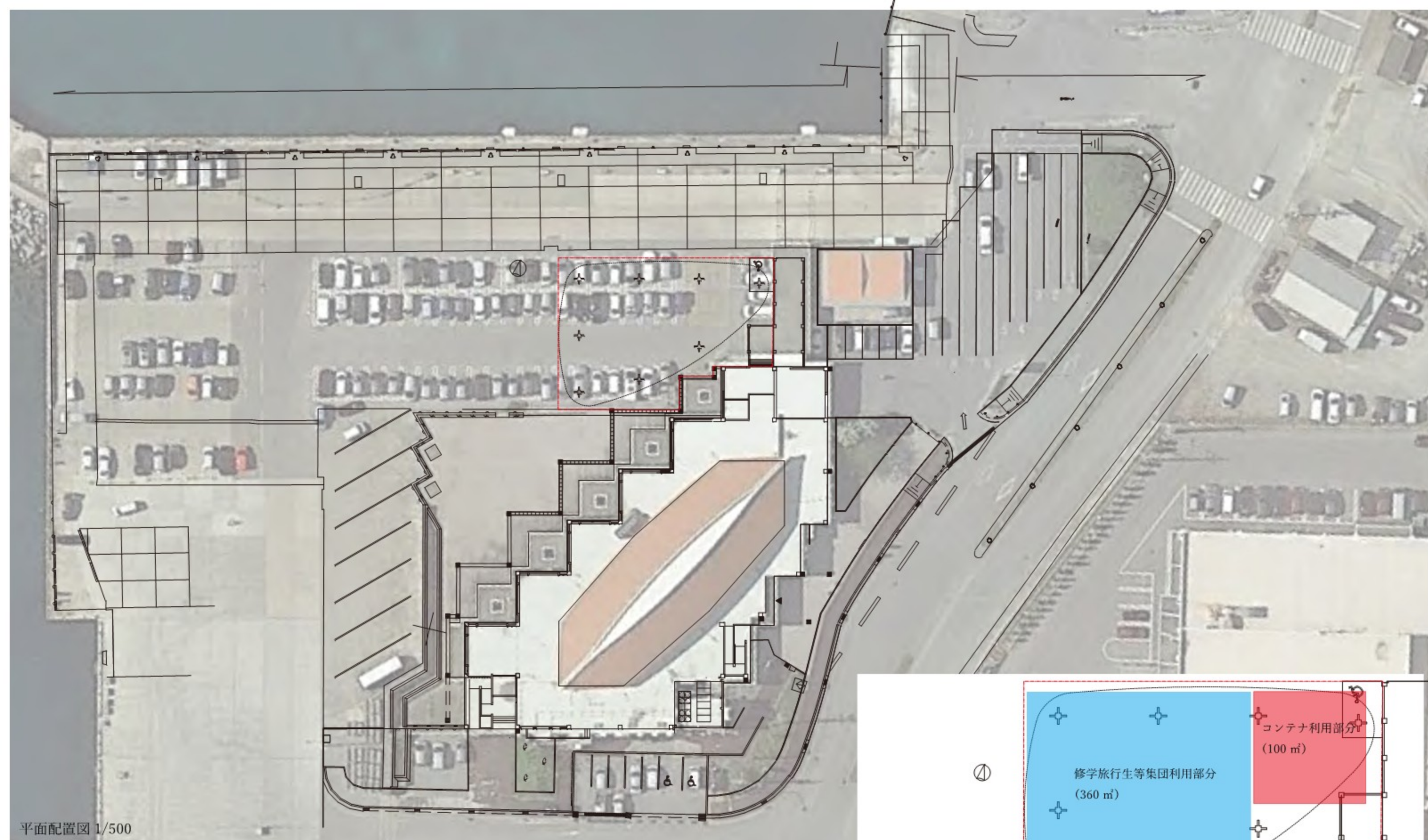
“屋根を架ける”、というシンプルな建築行為に、“屋根を捲りあげる”という何気ない設えが、この港に島の良さを留めます。

■建築概要

- ・建築面積 483.24 m² (146.18 坪)
- ・延床面積 483.24 m² (146.18 坪)

■構造

- ・基礎 ベタ基礎
- ・柱 RC造
- ・梁 PC梁
- ・スラブ ボイドスラブ



断面図 1/250

